

令和7年度 目標達成計画 グループホームのぞみ苑

作成日：令和7年

優先 順位	項目 番号	現状における問題点・課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み
1	2 3 4 13 20	・地域との日常的な交流の多様化を拡大 ・地域協力隊との運営会を通して出た意見の反映(元家族・民生委員・消防団・区長)を今後も続けていく ・市町との情報共有のための様々な取り組みに参加頻度を増やす ・SNSでの苑取り組みの発信が不十分 ・今年度は更に外部評価の意見をより吸い上げやすくするための仕組み作りの継続	・事業所と地域（学校や商店）のパイプを強化し、新規開拓の実施と地域の過疎化を協同で盛り上げる活動をする ・苑だよりの配布先拡大 ・運営会参加者の拡大・他施設の運営会の実施状況の見学とのぞみ苑の運営会への参加を募る ・市・町主催の定期開催若年性認知症の家族の会（あさがお）、市町・医療・介護の多職種が情報交換する会（みねケアネット）市主催のケア会議に参加し地域を盛り上げる活動に繋げる	・定期的な地元スーパードイベント、福祉トを企画し実施し地域を盛り上げるため結び付ける（年に2回） ・檀家さんのお寺の行事は参加を継続 ・地元の食材や物産の購入を続ける ・苑だよりの配布先に新たに小中学校（東地区）を増やし、校外学習などに活用える繋がりを作る（苑での合唱・劇披露） ・代表が理事を務める GH 協会員施設へ議交互参加の実現する ・業種の違う地域の方の2名参加を実現 ・市町の活動に参加する事で、苑の活動他施設との情報共有、美祢市を盛り上げる参加する
2	10 11 12	・上記「1」を実現するために求人が必須 ・職員主体でのケアを進める流れにはらつきがあり、同じリスクが繰り返される	・SNS発信する人員・時間の確保とSNSを活用した入居者の「キラリ」を発信する ・個人のケアに対する倫理観の共有と統一職員ひとり一人が「企業理念・個人理念の資質向上に自信を持つ」 ・入居者様の日課の充実、個人の願望の実現実績を増やす	・SNS で取り組みを発信する事で「のびのび」興味を持ってくれる方を増やす ・運営会を活用した外部評価に慣れて頂増えてきたが、新しい方や記入要領が読めない方に対して、分かりやすく、ご意見や疑問を出して頂けるよう、声掛け、努め、出た意見や疑問に対しては、事後報告、質の良いケアに繋がる外部評価にす ・SNS などを通じて、苑の活動を理解「ここで動いてみたい」と思ってもらえる繋げる ・リスクに対して職員一人ひとりが敏感き、ケアリーダーを中心に放置せず、報告・解決に結び付ける職員を育てる研修 ・月一回のスタッフ会議では各館ケアし上げてもらい、職員の抱える不安を取りの研修を行い、復習する事で同じリスクい事に繋げる ・週1回のケア会議を実施、週の振り返りに向けての重要ケアポイントの書き出し行事等の予定確認し、質の高いサービスきるよう準備をする
3	1 19 27 28	・職員の倫理観や価値観や報告基準にはらつきがあり、サービス業として介護を提供する事業所として底上げが必要 ・本人の意思の尊重とご家族のニーズが多様化して、苑がサービス業として日々検討し、満足して出来ていない場面がある ・入居者と日々とも楽しむ事が定着しているが、更に充実していく	・のぞみ苑のブランドを発信して、職員の自信に繋げる ・入居者の希望を一番とし、その希望に追いつけるように職員が入居者の希望を声に挙げてくれるタイミソングをマニュアル化して統一する体制を作る ・家族の希望、本人の想いを聴き、実現に向けていける職員を育てる研修実施 ・家族参加型のイベント実施 ・施設のイメージを打破し、入居者中心に多様化する ・イベントのみならず、入居者の「キラリ」までSNSを活用して投稿出来るようにする	・活動発信するために必要な、日々の生や動画を職員が意識して撮るようにする ・苑はSNS やメールが主流になっても、ソだけでは伝えきれない内容は、そ家族のスタイルに合わせて、今まで通りのえるスタイルを変えずに根気よく継続してわすかな時間でも、家族様と会える、話をとっていききたい （対面で難しい場合でも、対話でニーズスタイルを確立する） ・入居者様や家族様の想いや発言内容をノートを設置、ケアプランに反映するとこいに対して具現化出来るように対応策をえ実行する ・家族参加のBBQの実施 ・職員に促されことなく、自然とキッチン食事の準備をするなど、普通の家庭の流空間作りをする ・入居者の最高の笑顔と真剣な眼差しを記録に残す（撮影動画）SNSでの発信
4	22 23 24	・入院時の情報共有と退院後のリハビリなどの医療との連携を強化する ・急変対応力の強化とアラシデント発生時の報告、解決力に職員間でばらつきがある	・医療との連携強化、急変など判断し対応力を統一するための研修の継続 ・急変に対応出来る職員の質を上げる	・苑対応受診時は、その内容を即日家族に美祢消防の救急隊員の応急救置の研修る年1回 ・入居者の体調の変化に対し、受診すべ断基準のレベルを上げる研修の実施 ・日々の表情の変化を感じ、言動や行動アセスメント共有し、必要の際は家族に連絡末期は特に家族との連携を密にする

